

◆平成30年(1年間)の工事事故の状況◆

- ☆事故件数は「75件」とH29年から8件増加。
- ☆第1四半期(1月～3月)に「22件」と工事事故が最も多く発生。
- ☆月別事故発生状況は、9月(8件→13件)、10月(9件→13件)が最多、次いで1月(1件→10件)の事故発生件数が多い。
- ☆時間帯別の工事事故発生状況は、午前は11時台(14件)、午後は14時台(11件)が最多で、曜日別では水曜日の「18件」が最多。
- ☆休業4日以上労働災害が「5件」発生。(H29から5件減少)
- ☆死亡事故は無かった。

◆平成31年の現場での安全な施工に向けて◆

- ☆例年1月～3月で20件前後の事故が発生。
- ⇒**事故減少に向けて、更なる安全管理の徹底を!**

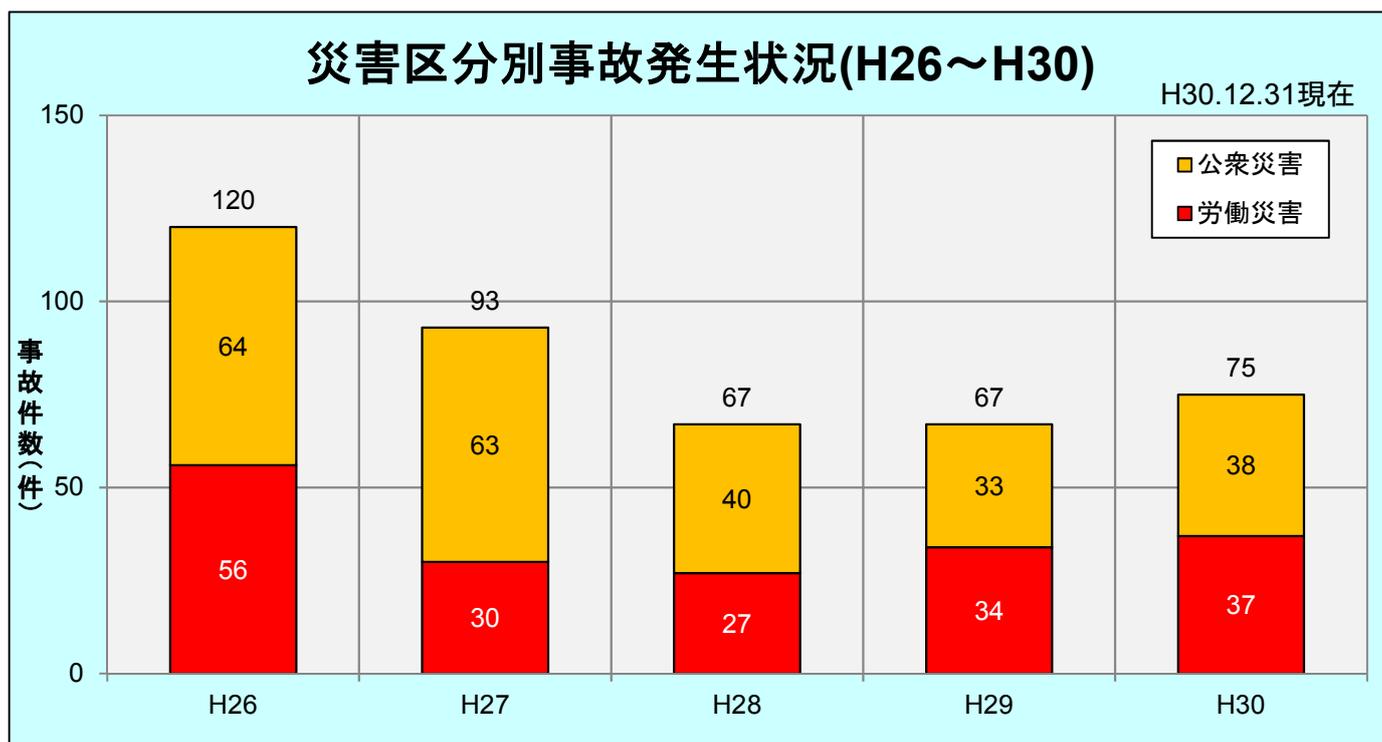
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

1. 工事事故の発生状況

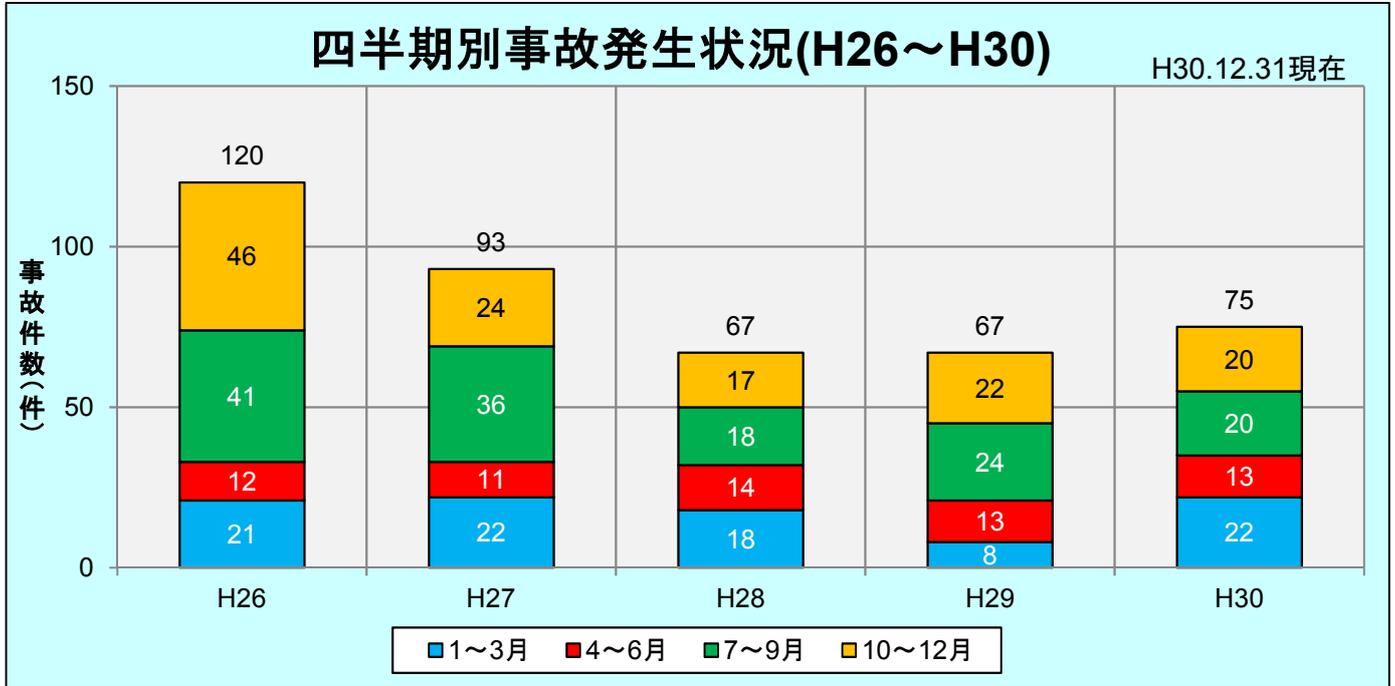
1) 各年の事故件数の推移

H30年の工事事故件数は75件発生し、昨年より8件増加しています。労働災害は37件と昨年から3件増加し、公衆災害は38件と昨年から5件増加しています。



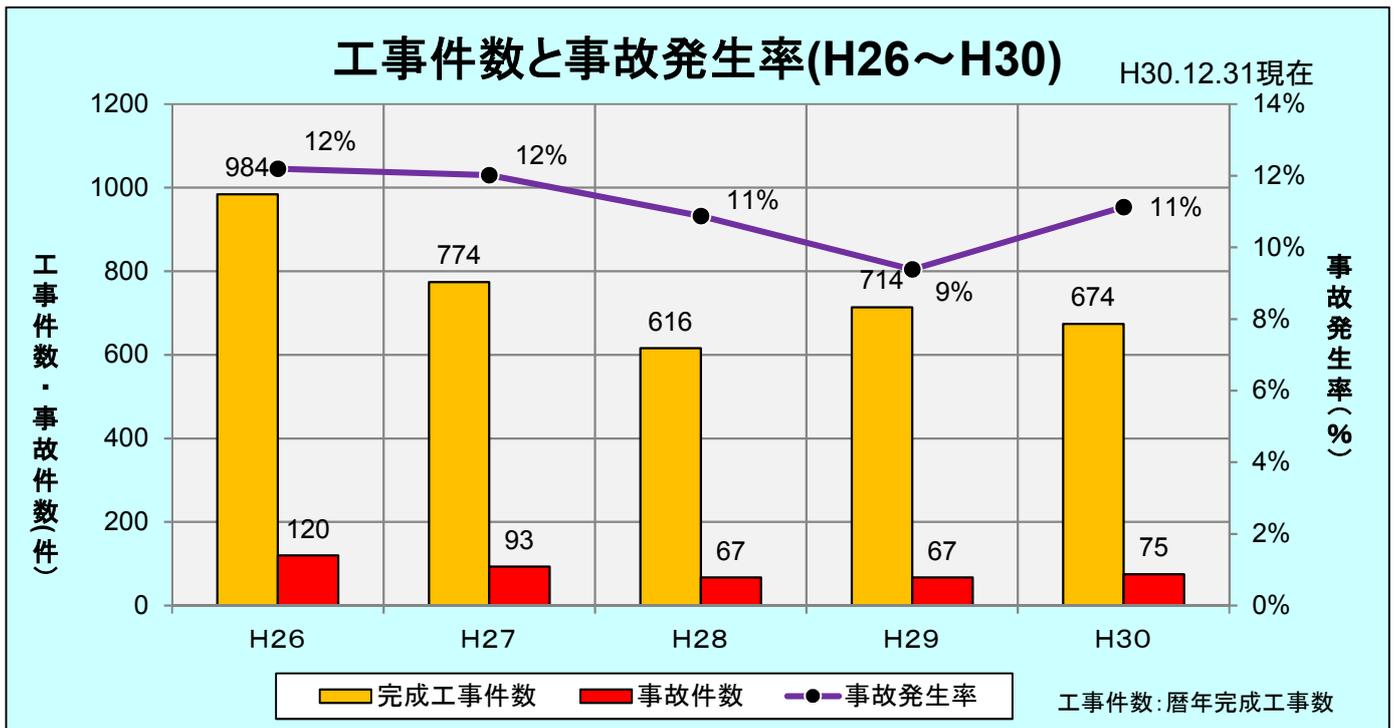
2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、H30年は1～3月が22件で最多、4～6月が13件で最小となっています。7～9月は昨年から4件減少、10～12月は昨年から2件減少しています。



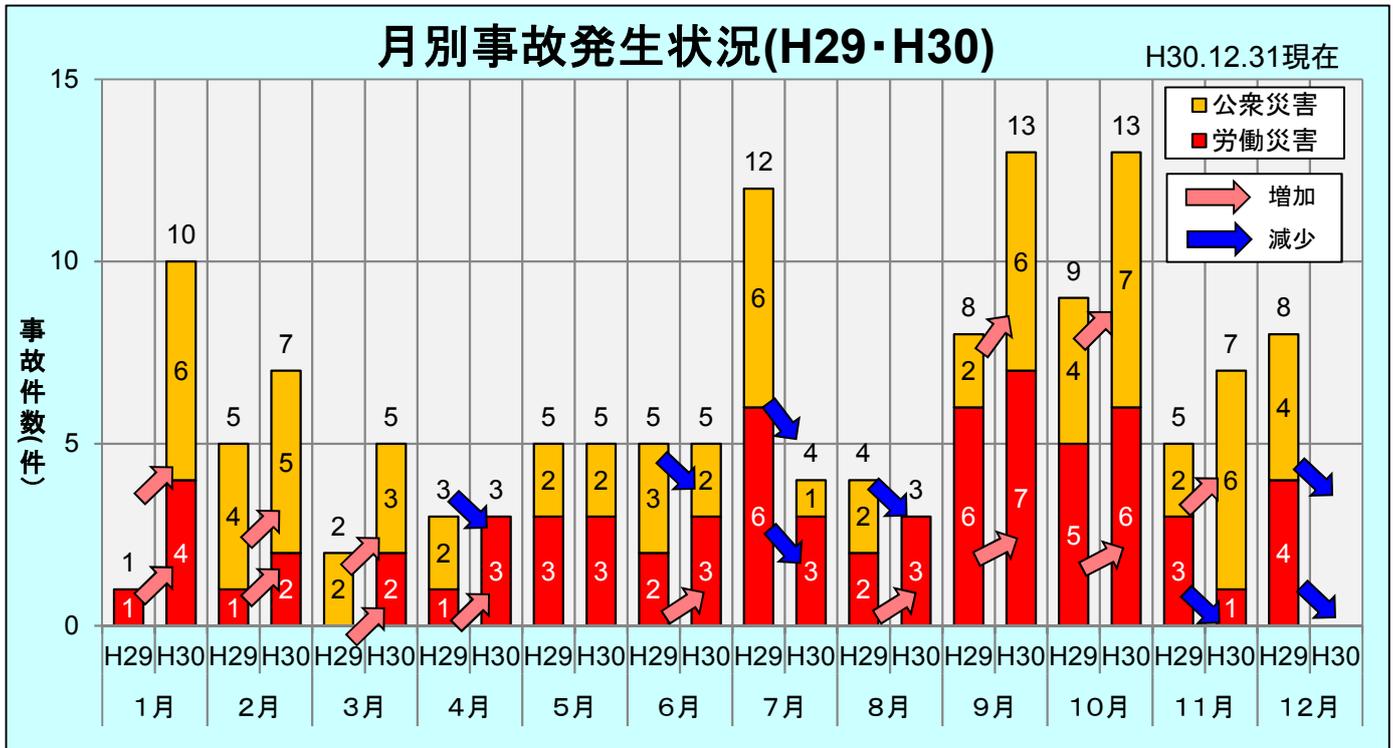
3) 各年の完成工事件数と事故発生件数

H26年以降、事故件数は減少傾向でしたが、H30年は昨年より8件増加しています。また、事故発生率は2%上昇し11%となっています。



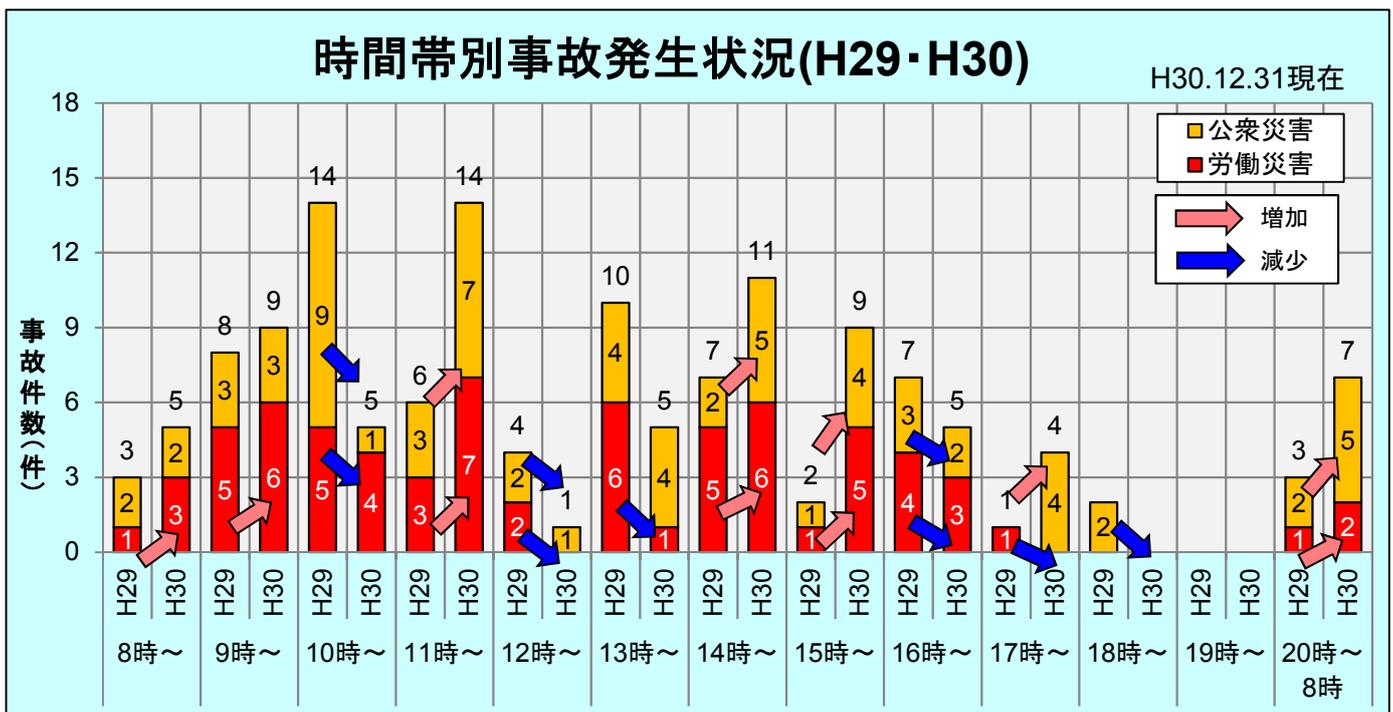
4) 月別の事故発生件数

H29年とH30年の月別事故発生状況を比較すると、9月、10月が13件で最大の発生となっており、次いで1月の10件となっています。特に1月は昨年から9件増加し、7月と12月は8件減少しています。



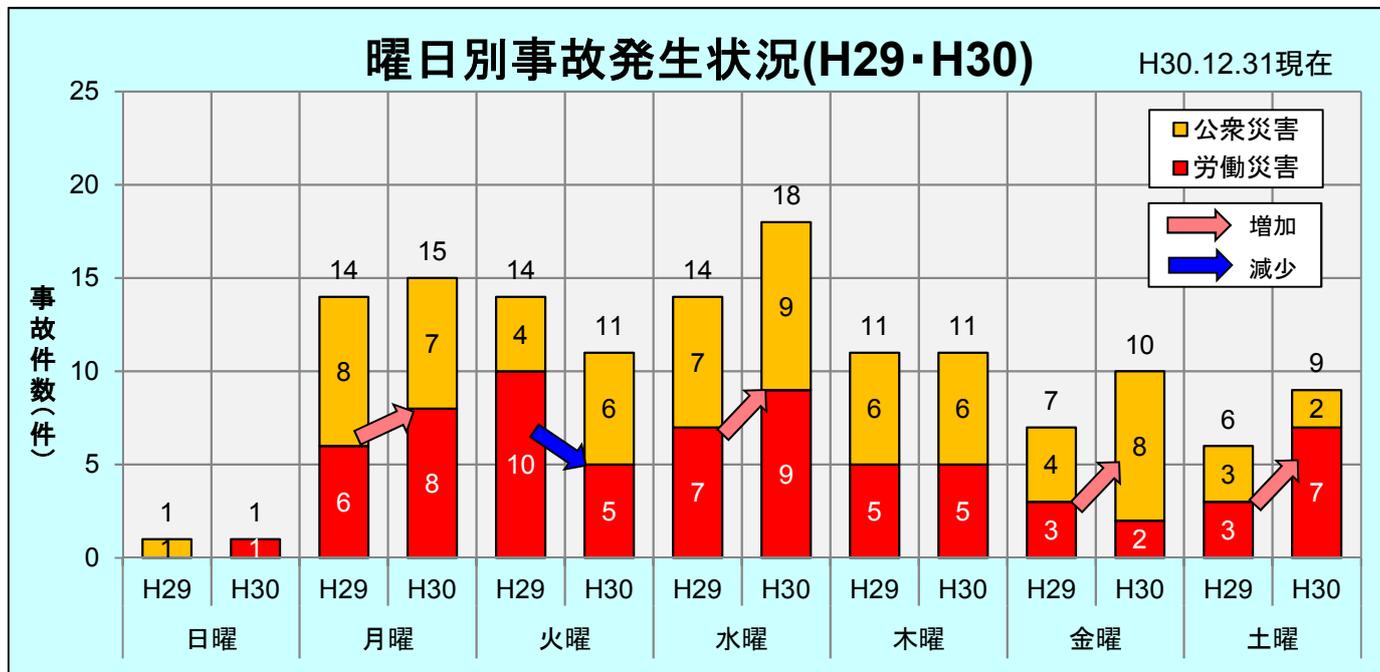
5) 時間帯別の事故発生件数

H29年とH30年の時間帯別事故発生件数を比較すると、午前は11時台が14件(+8件)、午後は14時台が11件(+4件)で最多となっています。



6) 曜日別の事故発生件数

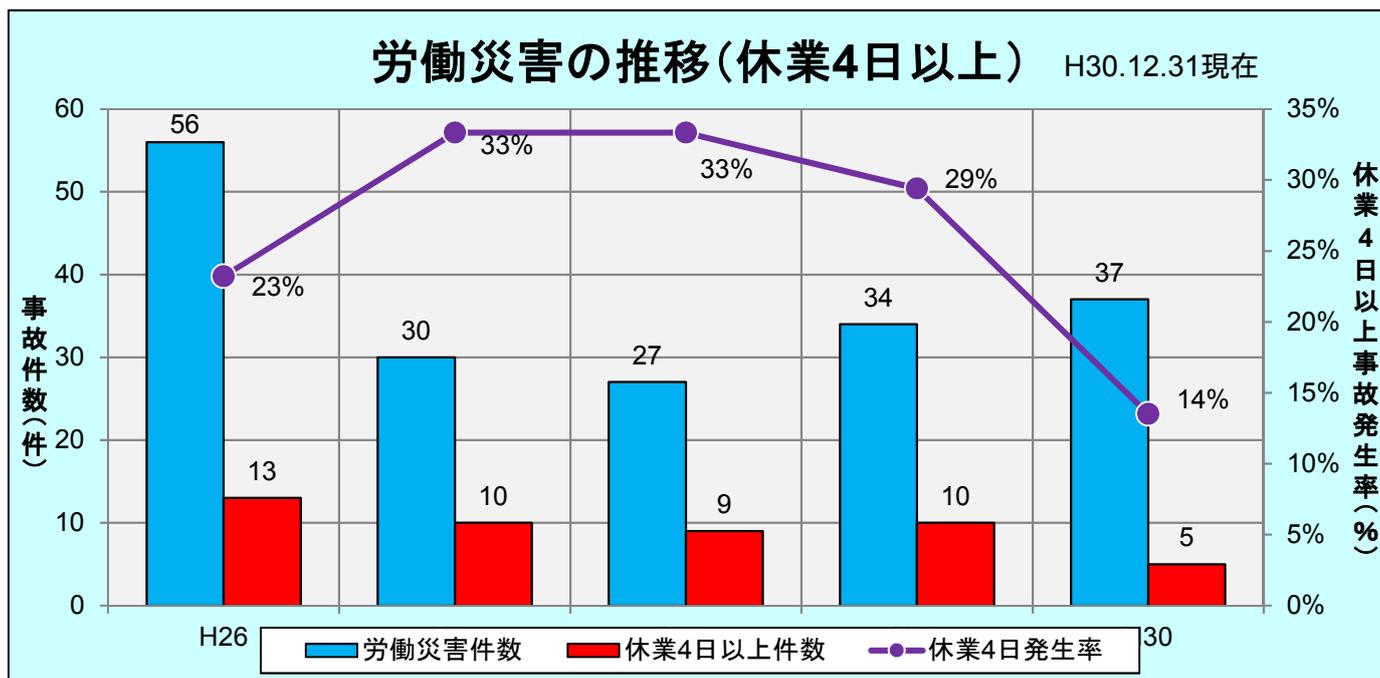
H30年の曜日別事故発生件数では、水曜日の発生件数が18件と最多で、労働災害、公衆災害とも最多となっています。次いで月曜日の15件となっており、火曜日、木曜～土曜日は10件前後となっています。



2. 労働災害の発生状況

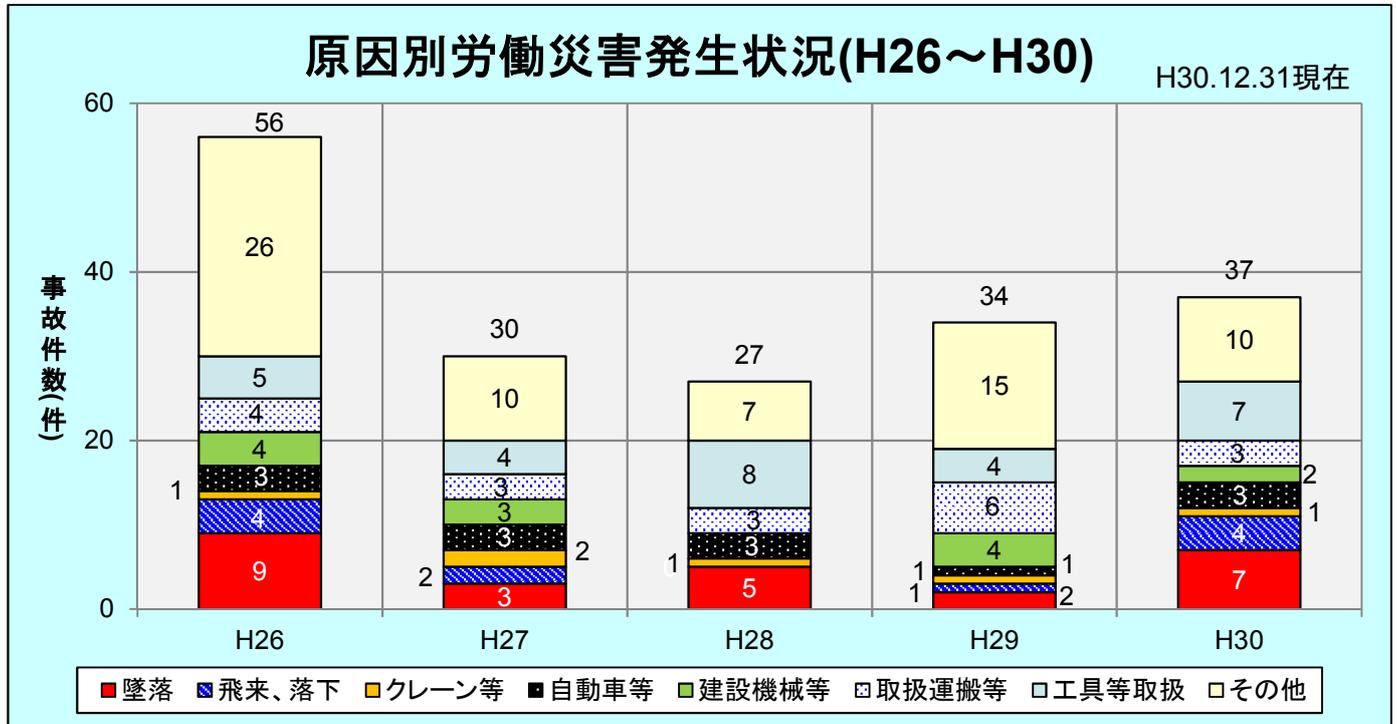
1) 休業4日以上事故発生状況

H30年の労働災害は37件、休業4日以上事故は5件発生し、昨年よりも労働災害件数は3件増加、休業4日以上件数は5件減少しています。また、労働災害に占める休業4日以上事故発生率は14%となっています。



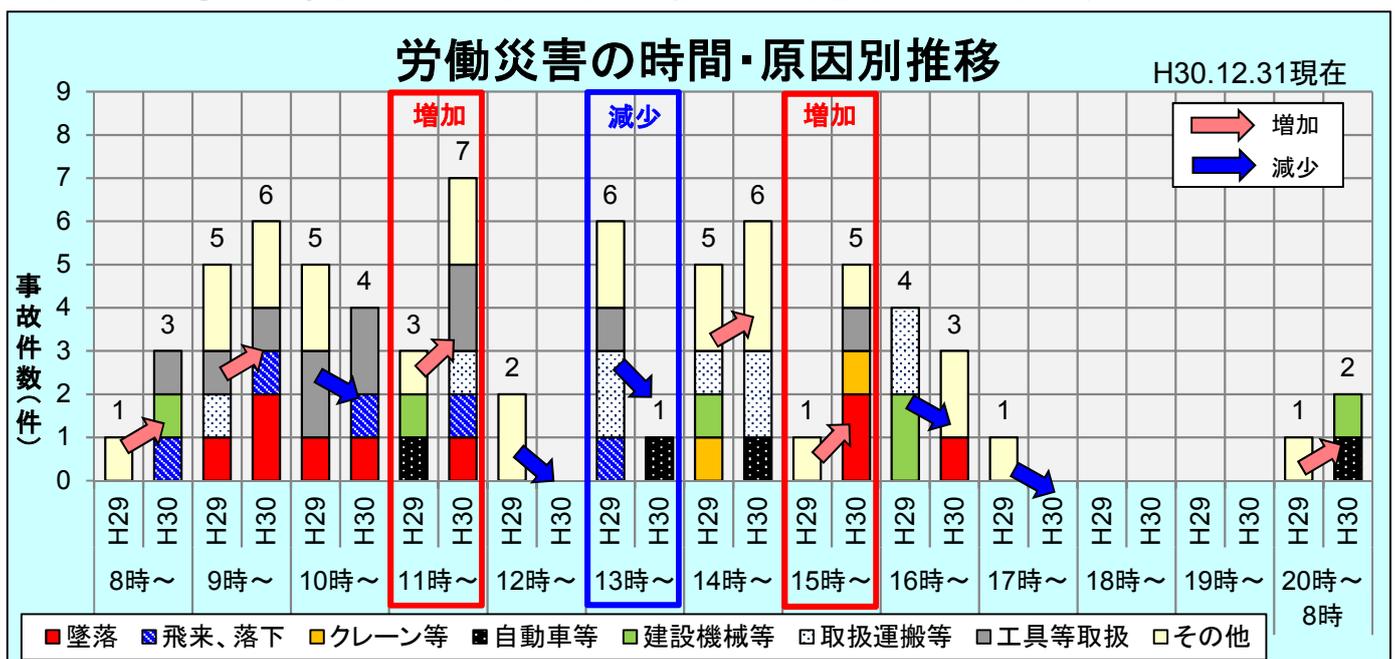
2) 労働災害の原因別事故発生件数

H30年の労働災害を原因別で比較すると、墜落と工具等取扱が7件で最多となっており、飛来、落下（1件→4件）、自動車等（1件→3件）が原因の事故が増加しています。その他事故の原因では、倒壊、転倒、ゴムボート転覆、仮設トイレ横転等となっています。



3) 労働災害の時間帯別・原因別の詳細分析

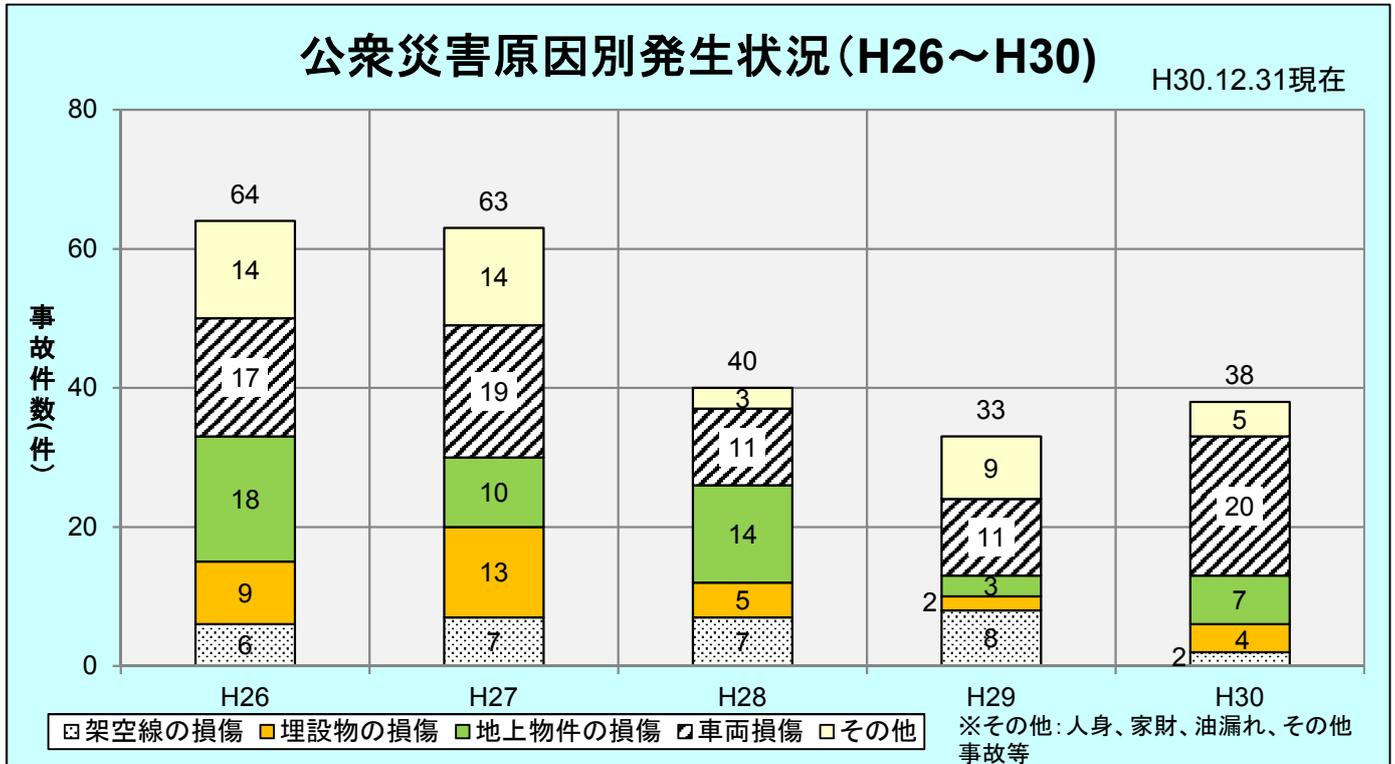
H29年とH30年の時間帯・原因別で比較すると、11時台が7件（+4件）で最多となっています。墜落事故は9～11時台と15～16時台で発生し、工具等取扱事故は午前での発生が多い傾向となっています。



3. 公衆災害の原因別発生状況

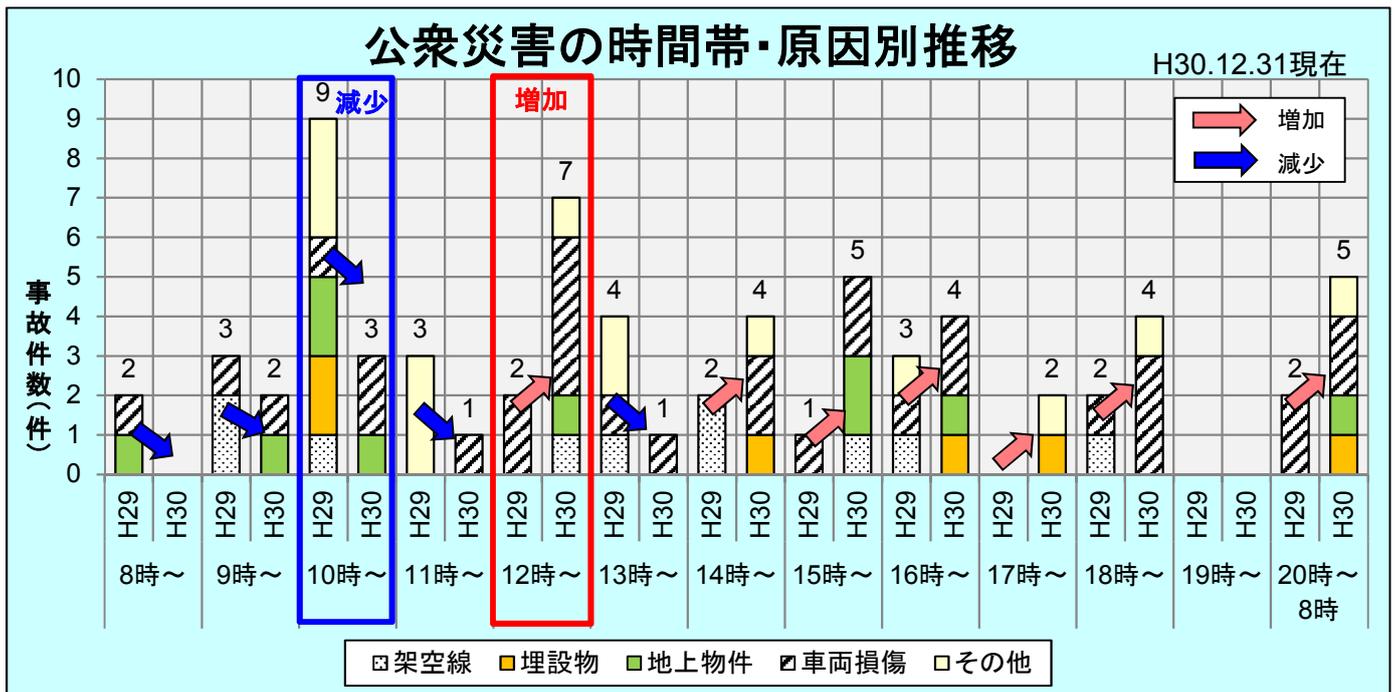
1) 公衆災害の原因別事故発生件数

H30年の公衆災害の原因別発生状況は、車両損傷が20件（11件→20件）と半数以上を占めており、次いで地上物件の損傷が7件発生しています。

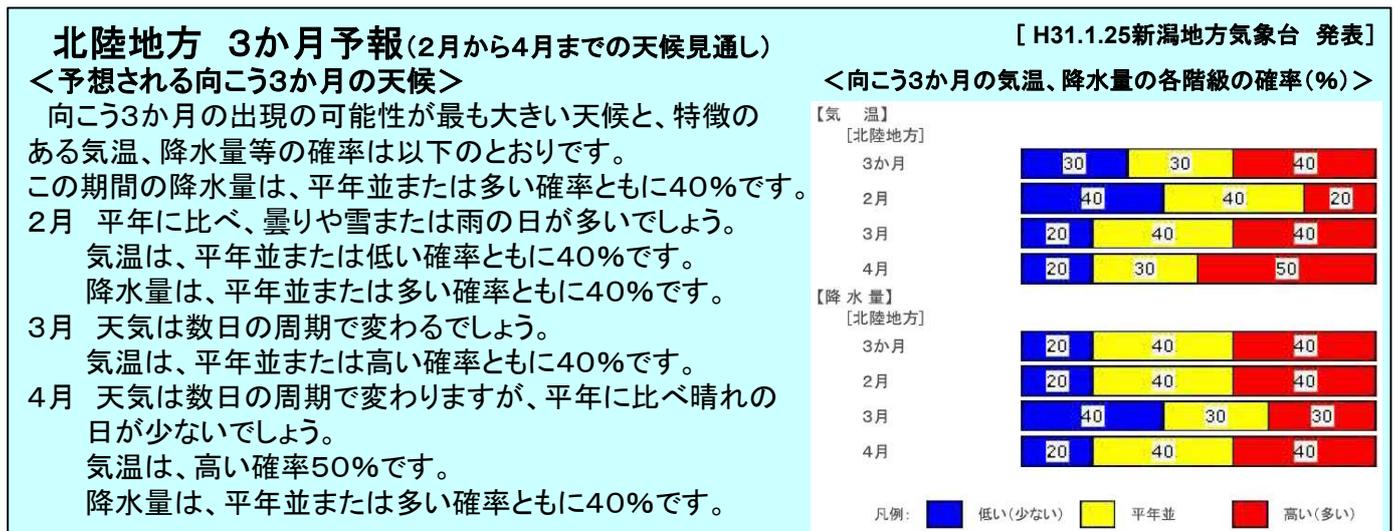


2) 公衆災害の時間帯別・原因別の詳細分析

H29年とH30年の公衆災害の時間帯・原因別を比較すると、時間帯は12時台が7件（2件→7件）で最多発生件数となっており、原因別では車両損傷が4件と半数以上を占めています。



4. その他



建設工事事務データベース(SAS) への登録をお願いします。

- ・地方整備局、都道府県、政令指定都市、機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事務対策検討委員会や発注者において、工事事務防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・**休業4日以上**の建設工事事務について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。
- ・「事故発生状況調査」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。



ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp>

・登録対象となる事故

分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、 <u>休業4日以上</u> の負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、 <u>休業4日以上</u> の負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは <u>休業4日以上</u> もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

※ 工事区域: 工事業現場内及び隣接区域

・平成30年11～12月に開催した「平成30年度 工事の生産性向上等説明会(後期)」の説明資料を北陸地方整備局のHPに掲載しています。工事事務関係の資料は、資料5「工事事務の発生状況」でご確認願います。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/seisan/H30kouki/seisan_30kouki.html>

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 神田
 TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861